

## 2023 年度保健看護学科 学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針) 報告書

### I. 学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針)振り返り

1. 分析対象数は、1 年生が 80 名 (89.9%)、2 年生が 45 名 (52.3%)、3 年生が 35 名 (42.2%)、4 年生が 11 名 (13.4%) であった。
2. 全学年を通して高得点の項目は、協力・協働 (グループワークや実習などで他メンバーや教員、指導者と良好な関係を築くことができる) (4.1)、臨地実習 (臨地実習は何故行うか知っている) (4.0)、授業方法の種類(科目の授業方法には講義、演習、実習があることを知っている) (3.8) であった (図 2)。
3. 低得点の項目は、社会貢献 (ボランティアなどを行っている) (2.6)、資格取得 (2.6) であった。新型コロナから回復しつつある一方で、社会活動の制限も一部残る状況にあり、1 年生では活動機会の制限が多少なりとも影響したものであると推察される。(図 2)。
4. 全体的に学年が上がる毎に学びの姿勢が向上する傾向にあった。授業方法の種類、協力・協働においては高い傾向がみられ、学生自身が授業に関心を寄せ、意識を高めていたものと推察される。また、実習等限られた対面の機会に、協力・協働の重要性について修得したと考えられる。

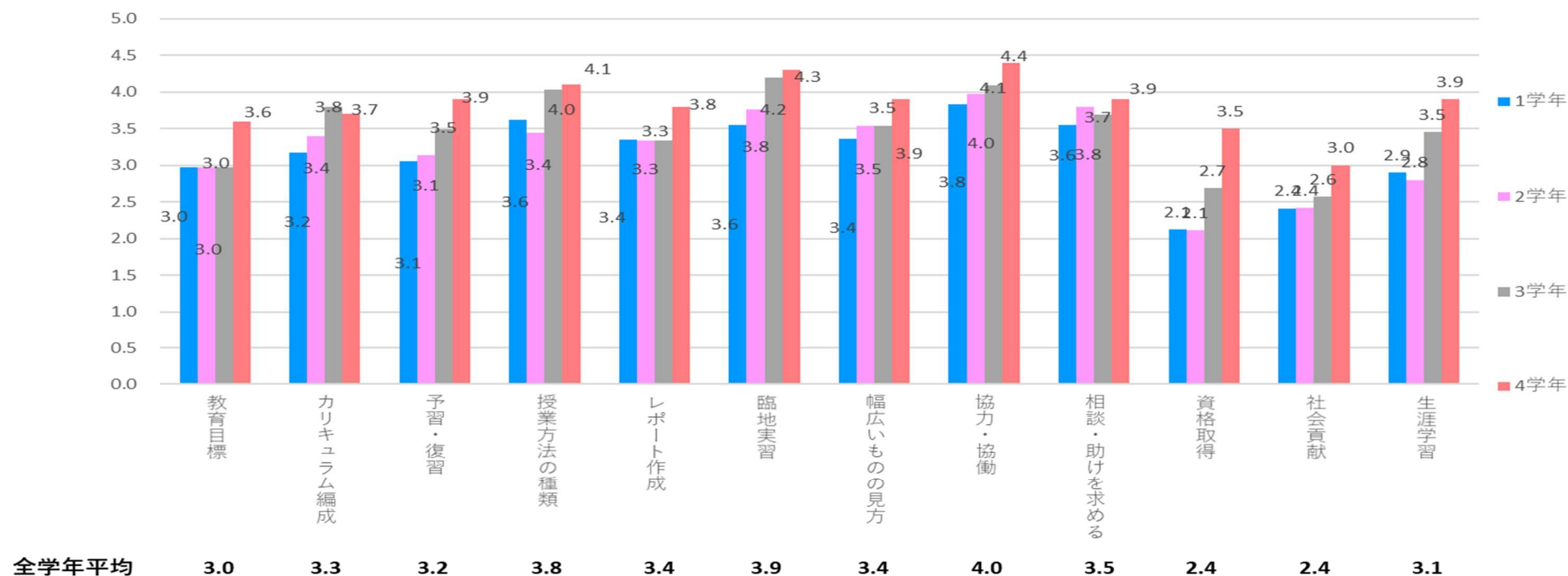


図2)学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針)